

柚木沙弥郎 永遠のいま

4月18日[金]～6月16日[月]

惜しまれつつも2024年1月に101歳の生涯を閉じた染色家、柚木沙弥郎。染色作品のみならず、版画やコラージュ、絵本、立体作品など、ジャンルの垣根を超えて制作された作品の数々をご紹介します。



柚木沙弥郎《小鳥》1992(平成4)年 坂本善三美術館蔵

川端龍子展

7月18日[金]～8月25日[月]

横山大観や川合玉堂とともに、近代日本画3巨匠の一人に数えられる日本画家・川端龍子(1885-1965)。それまでの日本画の既成概念を超越した大作を次々に発表し、人々を圧倒、魅了し続けてきました。80年という歳月を通して、龍子がどのような「日本画」像を探求していったのか、本展では考えていきます。



川端龍子《南飛図》(左隻部分)1931(昭和6)年 和歌山市立博物館蔵

永田コレクションの全貌公開〈二章〉 北斎-「葛飾北斎期」「戴斗期」編

9月10日[水]～11月3日[月・祝]

【前期】9月10日[水]～10月5日[日]

【後期】10月8日[水]～11月3日[月・祝]

北斎研究者・永田生慈氏(1951-2018)より寄贈された県外不初の「永田コレクション」より、北斎の「葛飾北斎期」・「戴斗期」(数え46から60歳頃)の作品を公開します。北斎が当該期に挿絵を手がけた読本(長編小説)と絵手本など500冊以上の版本を細大漏らさず展示!この両版本で第一人者となった北斎が魅せる、圧巻の「版本世界」を、ぜひご堪能ください!



曲亭馬琴・作、葛飾北斎・画『権説弓張月 前編(初摺本)』1807(文化4)年 島根県立美術館蔵(永田コレクション)

島根から世界へ! 生誕150年 石橋和訓展^(仮称)

2026年3月6日[金]～6月8日[月]

島根県出身の画家・石橋和訓(1876-1928)は、明治期にイギリスに渡りロンドンのロイヤル・アカデミーで西欧伝統の絵画技法を身につけ、主に肖像画家として国内外で活躍しました。このたびその生誕150年という記念すべき年に初の大規模な回顧展を開催し、世界へと大きく羽ばたいた郷土出身の画家を顕彰します。



石橋和訓《美人読詩》1906(明治39)年 島根県立美術館蔵



第58回 島根県総合美術展 (県展)

11月15日[土]～23日[日]

県民文化祭の美術展における入賞・入選作等を展示します。

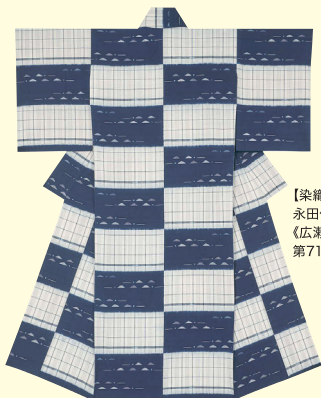


〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL:0852-55-4700 FAX:0852-55-4714
https://www.shimane-art-museum.jp

第72回 日本伝統工芸展

12月3日[水]～24日[水] 会期中無休

厳正な審査をへて選ばれた陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門の作品を紹介。重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品をはじめ、受賞作、地元山陰(島根県・鳥取県)在住作家の入選作品など約270点を展示いたします。



【染織】
永田佳子(島根県安来市)
《広瀬紺着物「洗洋」》
第71回展出品作